



アイヌ語 ネコンネコン

「カエルが帰る」のような 言葉遊びを教える

さっぽろ し にしおかきたしょう ねん み かみかける
札幌市・西岡北小 6年 三上 駈さん



瀧口：はい。今回は、みんな大好きダジャレの時間で
すね。

北原：いろいろあるけど、「ひだり」とか「ひと（人）」とか、言葉の中の「ひ」を、「し」とも発音することがあるでしょ。

瀧口：うん、あるね。「しだり」とか「し」とか。



北原：あるアイヌ語のわかるおばさんがね、団子を食べたいってひとり言をいってたんだった。それで、団子のことはアイヌ語で「シト」っていうでしょ。

「おなかすいた、シトでも食べるかなー」って言ったのをたまたま聞いてた人がいてね…。

瀧口：おっほほ。

北原：その聞いてた人はシトを知らなくて「ひとでも食べるかなー」って言ったと思ってたまげてしまったってさ。

瀧口：あっはははは、なるほどね。それだと、くしざしにしてコンブダレつけた人とか、あんこをのせた人とかを食べることになっちゃうわけね。

北原：そうそう。ではここで新作ダジャレをひとつ。おならのことを、樺太（サハリン）ではオホケといいます。

瀧口：ああ、うん。北海道ではオホケだね。どちらも「OK（いいよ、よかった）」のようにも聞こえるね。

北原：ちょっと相談だけど、実は今おならでそう。「おならしてもオホケー？」

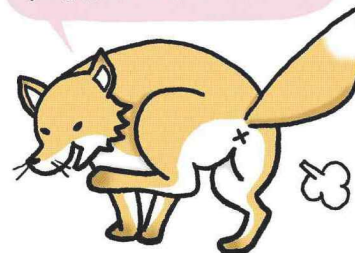
瀧口：「オホケー！！」ってなるかあ！ 向こうでしてらっしゃい。



おなかすいた
シトでも食べるかなー



おならしてもオホケー？



題字・イラスト 小笠原小夜

このコーナーでしょうか
いたアイヌ語の発音は
「まなぶんデジタル」の
専用ページ＝
QRコード＝
で聞くことが
できます



「〇〇ってアイヌ語で何ていうの？」。小学生から寄せられた質問に、アイヌ民族の2人があーだこーだいうコーナーです。考えた言葉は公式でもなんでもなく、結論もとくに出しません。ネコンはアイヌ語で「どう（言うの?）」という意味です。

北原モコツトウナシ 1976年、東京都生まれ。ルーツは樺太（サハリン）。北海道大学教授。むかしのアイヌ民族の暮らし、特に言葉、音楽、文学、宗教のことを調べている

瀧口タ美 1971年、釧路市生まれ。阿寒湖畔のアイヌコタンで育ち、幼少期からアイヌのおどりを習う。現在は京都市在住で、集グループSUREという出版社の代表